

地域と協力して、産業を盛り上げる



渡邊正弘  
Masahiro Watanabe  
株式会社ミトモ  
代表取締役社長

リフォームをメインに取り扱ってきた株式会社ミトモの渡邊正弘社長が「宇部工専T&B(※)」に参加し、地域の先生や会員達と一緒に作り上げた「マイクロバブルシャワー・美オッシュ」。開発～販売から数年、新しい展開とさらなる発展を目指して平成20年度の「新分野進出モデル構築支援事業」に申請、採択されました。地域のさまざまな人達と協力し合い、アイデアを実現していく渡邊社長にお話を伺いました。

※宇部高専テックアンドビジネスコラボレイト(宇部高専T&B)…宇部工業高等専門学校と地域の企業や商店、個人が連携して技術や実務等に関する交流を深めることにより、学校と産業が一緒になって新商品や技術支援を進めていく会。

株式会社ミトモ  
会社概要

創業 昭和52年9月  
代表者 代表取締役社長 渡邊正弘  
従業員数 9名  
営業内容 建築一式、増改築、ログハウス  
介護システムハウス、  
コーナー式システムキッチン・  
サウナ・コントロール式シャワー等  
住宅設備機器



アイデア溢れる商品で、  
地元で親しまれる会社に

株式会社ミトモは昭和52年、三友建設工業株式会社として創業。当初は新築住宅を専門に扱っていましたが、数年後にはリフォームを主体とした業務へ移行。その後、間伐材を使った縦組みログハウスや可搬式介護システムハウス、またコーナー式システムキッチンやサウナ商品といった住宅設備機器のオリジナル製品の製造販売など、建設・リフォームのノウハウを生かしたさまざまな取り組みを続けています。

「もともと新しいことをやってみるのが好きなんです。ミトモのことをご存じの方は『おもしろい会社だな』と思ってたっしやる方も多いかもしれません。」と渡邊社長。この度、平成20年度「新分野進出モデル構築支援事業」に採択された「マイクロバブルシャワー・美オッシュ」も、画期的な発想から生まれた新しい商品です。

マイクロバブルを  
応用したシャワーで  
すっきり!

「マイクロバブルシャワー・美オッシュ」は、水の中に含まれている酸素と窒素を取り除くことで、

マイクロバブル(数十ミクロンの微細気泡)をつくり出し、その泡が細かいシワや毛穴まで入り込んで、汚れや老廃物を取り除くというもの。強いシャワー、吸引、マイクロバブルなどによる洗浄・血行促進により、美肌やマッサージュ効果を体感することができます。

「美オッシュ」の開発は、宇部工業高等専門学校、山口大学、山口県産業技術センター、そして(株)ミトモの産学官連携によるもので、3年ほど前より発売が開始されています。

「宇部高専T&Bの活動の中で、ちょうどマイクロバブルについて先生や会員さんが一緒になって取り組んでいたんです。そこでシャワーに活用できるという話になり、ぜひ私にやらせてくださいと開発に乗り出しました。専門メーカーではないので金型を造るところから色々苦労しましたが、周りの方々の協力もあって都心部の大型雑貨店などにも流通しています。」



シャワーの常識を超えた  
新美容機能

マイクロバブル

シャワー・吸引

ミストの発生

事業としていかに  
成功させるかがポイント

この新事業に、たくさんの方々が取り組まれているのかと思いきや、大きく動いておられるのは渡邊社長のみ。そこには会社を守る上での役割がありました。

「会社にはリフォームという本業があります。それが揺らいでしまつては大変ですから、仕事の分担を企画と業務にきっちり分けて動いています。」展示会への出品や東京への営業なども、社長自身がまわられているそう。新事業へのシビアな意見も聞かれました。「新事業という格好がよいですが、本当に事業として軌道に乗せるには大変な苦労がいます。研究開発費にはすぐお金がかかります。まず、成功しなかつたら道楽に終わってしまう。資金面でのやりくりをしつかり考えながら、チャレンジを続けていきたいですね。」

雑誌やテレビにも取り上げられ、話題に上った「美オッシュ」。現在は類似品が出始めたこともあり、差別化をはかるため、ミスト機能などさらなる改良を加え、新製品を開発中。また、新たに介護用のシャワーについても、工専・大学の先生や中国産業技術センターの支援を受けながら、他の業者さんと協力して研究に取り組まれています。一時のブームに終わらせず、築き上げたものを守っていくためにも、次なる戦略を考えておられます。